

# 沖縄は、今～東村高江で起っていること～お話し：山城博治さん

(沖縄平和運動センター)



## ～高江・辺野古への新たな基地建設を許さない！4.26 横浜集会へ～

2009年9月の「歴史的な」政権交代から一年半。新政権への期待は、幻滅に、そして怒りに変わり、「これ以上の基地負担はごめんだ！」「普天間基地は県外へ！」という叫びが、沖縄の人々の総意として揺るぎないものとして再確認されていく、そんな18ヶ月間でした。

日本政府・防衛省は、先島諸島への陸上自衛隊配備を打ち出す一方、沖縄の声に背を向けて「日米同盟」を何よりも優先し、辺野古ではコソコソとキャンプ・シュワブ内の兵舎整備工事を進め、そして東村高江では、沖縄防衛局が大量の職員と作業員を動員し、米軍ヘリパッド建設に向けた作業を強行してきました。

「沖縄の人はごまかしとゆすりの名人だ」—米国防省メア前日本部長（3月9日更迭）のこの占領者然とした発言は、沖縄に軍事植民地状況を押しつけ続ける日米両政府の戦後一貫した沖縄政策を象徴するものです。

山城博治さんは、東村高江の座込み現場に張り付き、米軍ヘリパッド建設に向けた作業強行に抗議する住民の闘いを支え、沖縄防衛局を追及してきました。今回は、この高江の闘いのビデオ上映と報告を中心に、「沖縄の今」を語っていただきます。4.26 横浜集会への参加を！



講師：山城博治さん・・1952年沖縄・うるま市生まれ。沖縄県職労副委員長を経て2004年から沖縄平和運動センター事務局長。日本全国を駆け回り反戦平和を訴え、神奈川の反基地集会でもおなじみ。昨年末からの東村高江の米軍ヘリパッド工事強行に抗議する住民の最先頭に立ち、沖縄防衛局と対峙してきた。

### 特別報告

「福島原発で何が起きたか？」

報告者：小島浩介さん・・神奈川県高教組「平和通信」編集長。

# 4月26日(火) 18時半

**会場** かながわ県民サポートセンター402号  
(横浜駅西口5分 045-312-1121)

**資料代(カンパ) 500円**



- 主催**：沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座（沖縄講座）
- 後援**：自治労横浜市従業員労働組合 **賛同**：基地撤去をめざす県央共闘会議ほか
- 連絡**：Tel&Fax 045-434-3896 深沢
- \* 集会への賛同・協力をお願いします。団体3000円/口個人1000円/口
- \* 郵便振替 00210-0-2021 沖縄連続講座